



大森二中だより

令和元年度 大森二中の合い言葉「思いやり」

令和元年 9月号
大田区立大森第二中学校
校長 菅原 淳一
TEL 03-3762-6456

交通ボランティア

地域の大森交通ボランティアでは夏休みに児童館に通う児童の帰宅時間での交通安全見守り活動を行っています。今年は7月の22日（月）と26日（金）の2日間、1年生がボランティアとして参加しました。美原通りの児童館の近くでは車の裏道であることから交通量も多く、児童が通るときに誘導棒をあげ、十分注意をして横断歩道を渡ってもらいました。大森交通ボランティアの方々に大変喜ばれました。来年度はぜひ地域のボランティア活動に多くの生徒が参加してくれることを期待します。



思いやりプロジェクト

【日本代表さくらJAPAN体験プログラム】

9月6日（金）に思いやりプロジェクトとして、ホッケー日本代表さくらJAPAN体験プログラムを実施しました。大井ホッケー場で合宿中にも係わらず、さくらJAPANの選手19名をはじめ選手関係者の方々が本校の体育館においでいただきました。

最初にチームリーダーの中村さんから、ホッケー競技の魅力やさくらJAPANの活躍についてスライドや映像を見せていただきながら説明を受け、その後体験プログラムの実施です。残念な



がら、全員が参加することはできませんでしたが、見学をした生徒も体験をしている生徒に応援をしたり、歓声を上げたり、拍手をしたりと多いに盛り上がりました。

【ドリブル体験】

ホッケーのスティックを使ってボールを上手にコントロールしながら左右に転がします。選手の人たちは、まるでボールがスティックに張り付いているよう。最初はうまくコントロールできなかった生徒たちも最後の方は、少しだけできるようになってきました。

【パス体験】

体育館の両サイドに分かれてコーンの間をパスで通します。できるようになるとだんだんコーンの間隔が狭くなります。決められた回数をどれだけ早く通せるかで競い合いました。

【シュート体験】

2チームに分かれてゴールをした回数で勝負、練習の時は、キーパーの選手が防具を着けて実際に



ボールがゴールに入るのを防いだりしました。(さすがにこれは入らない)

体験プログラムが終わると今度は選手たちによるミニゲーム。審判の方も参加し、競技をしながらルールの説明を含めホッケーの魅力を紹介していただきました。最後はさくら J A P A N の選手 4 名と本校の生徒 6 名によるミニゲーム。最初はなかなか動くこともできませんでしたが、得点も取ることもでき、見学していた生徒も試合を堪能することができたようです。

午後の短い時間でしたが、生徒もホッケーの魅力の一端を知ることができたようです。多くの生徒たちが、「ホッケーって面白いから自分もやってみたい」「東京オリンピックでも応援をしたい」と思ってもらえたら、選手たちもとてもうれしいのではないのでしょうか。来年は大井ホッケー競技場が東京オリンピックの会場となります。皆さんでさくら J A P A N を応援していきましょう。

大田区立中学校陸上競技選手権大会

9月13日(金)に駒沢オリンピック公園陸上競技場で陸上競技選手権大会が行われました。区内28校の代表が参加し、本校では以下の生徒が参加しました。夏休み明けからの短い期間でしたが、生徒は朝練習など一生懸命練習に励み、本番に全力を出し尽くしました。今回は800m走で優勝、1・2年走り幅跳びで7位と8位に入賞しました。おめでとうございます。PTA 並びにスクールサポート二中の皆さん、応援ありがとうございました。



入新井地区9町会合同防災訓練

9月15日(日)に本校の校庭で入新井地区9町会合同防災訓練が実施されました。今年は吹奏楽部を中心に19名の生徒がボランティアで防災訓練のお手伝いをしてくれました。「起震車」「煙体験」「救急救命(AED)」「放水体験」「救出訓練」など様々なブースでの体験ができました。最後は、グラウンドの整地でボランティア終了。協力してくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。



生徒会役員選挙

9月26日(木)に新しい生徒会役員選出に向けて立合演説会と投票が行われました。どの立候補者も二中をどのようにしていきたいか、自分の意見をしっかりと述べ、全校生徒もそれをしっかりと聞いた上での投票でした。

皆さんの応援をよろしくお願いします。

